

平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年5月14日

上場会社名 株式会社 I B J 上場取引所 東
 コード番号 6071 URL <http://www.ibjapan.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石坂 茂
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 土谷 健次郎 TEL 03 (5324) 5660
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の業績（平成26年1月1日～平成26年3月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	723	—	133	—	133	—	80	—
25年12月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	38.97	37.28
25年12月期第1四半期	—	—

当社は、平成25年12月期第1四半期は四半期連結財務諸表を作成してするため、平成25年12月期第1四半期並びに前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第1四半期	2,100	1,128	53.5	541.85
25年12月期	2,126	1,151	54.0	552.94

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 1,124百万円 25年12月期 1,147百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	50.00	50.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想は未定であります。

3. 平成26年12月期の業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	1,435	19.1	226	24.4	225	23.5	135	12.0	65.09
通期	3,050	18.5	540	20.1	516	15.2	310	15.2	149.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

詳細は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期1Q	2,075,000株	25年12月期	2,075,000株
② 期末自己株式数	26年12月期1Q	155株	25年12月期	111株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期1Q	2,074,870株	25年12月期1Q	2,074,925株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、この四半期決算短信（添付資料）P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、創業以来、「国民的“マリッジ&ライフデザイン”サービスを創る」及び「ご縁がある皆様に“幸せ”にする」を経営理念に、オンラインとオフライン両方の婚活サービスを総合的に運営する、国内および海外でも類のない独自のサービスを展開しております。「婚活」というワードも国内では十分認識、定着しており、婚活サービスに対する心理的ハードルの低下と相まって婚活に伴う消費意欲も高まり、潜在的な市場規模は拡大傾向にあります。未婚率は依然として上昇傾向にあり、当社事業への社会的ニーズは大きく高まっております。

このような環境のもと、当社は、オンラインであるインターネットを活用するサービスのメディア部門と、オフラインである結婚相談所等のリアルサービスを行うサービス部門を組み合わせた複合婚活事業モデルの独自性を活かしつつ、ITを駆使して市場を開拓し、持続的成長を実現してまいりました。国内では、婚活登録会員数および成婚数ともに順調に増加しており、当社のサービスは、未婚化・晩婚化および少子化に対する解決策の一つとして貢献しているものと自負しております。

当社の現在の主要婚活サービス利用者数は約25万人、ご加盟いただいている結婚相談所数は914社となっております。この会員基盤とインターネットメディアを活用した広告プロモーションが年々拡大し、広告クライアントと業務提携先は増加しております。また、当第1四半期累計期間では、関西の主力店舗として新たに心斎橋店をオープンさせたほか、海外展開の第1弾として台湾に合弁会社を設立する準備や婚活消費として従来より取り組んでいた指輪の送客に加えて新たに結婚式場への送客を開始するなど、着実に事業基盤の強化を図ってまいりました。

その結果、当社の当第1四半期累計期間における売上高は723百万円、営業利益は133百万円、経常利益は133百万円、四半期純利益は80百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、売上高については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて表示しております。

また、平成25年12月期第1四半期累計期間は、四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期比較については記載しておりません。

<①メディア部門>

メディア部門には連盟事業、メディア営業、コミュニティ事業、イベント事業が属しております。当部門では、連盟事業での結婚相談事業者の新規開業支援や、IBJシステム（お見合い管理システム）の機能及び連盟本部事務局機能の増強など、加盟相談所数・登録会員数の順調な増加による収益力の向上、メディア営業でのオンライン、オフライン広告枠の拡販、コミュニティ事業での婚活サイトの機能拡充による新規会員獲得強化による登録会員数の増加、イベント事業での恵比寿店、心斎橋店の新設など東名阪エリアにおける自社会場企画と開催数の拡充に加え、外部会場開催の企画型イベントへの取り組みや合コン開催の自動セッティングなどセッティングシステム増強による開催率向上や街コン開催数の順調な増加、及び魅力ある会場（飲食店）の開拓等に取り組んだ結果、売上は順調に推移いたしました。

その結果、当第1四半期累計期間におけるセグメント売上高は481百万円、セグメント利益は177百万円となりました。

<②サービス部門>

サービス部門には、ラウンジ事業が属しております。

当部門では、関西地区の主力店舗として心斎橋店の新規出店などハードウェアの増強に加え、アドバイザー並びにカウンセラースタッフの拡充とスキルアップ（成婚の育み方）研修の計画的実施等ソフトウェアの増強による、入会数及び成婚数の増加が寄与し、売上は順調に推移いたしました。

その結果、当第1四半期累計期間におけるセグメント売上高は261百万円、セグメント利益は109百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は1,410百万円となり、前事業年度末に比べ99百万円減少いたしました。これは主に売掛金が16百万円増加した一方、現金及び預金が111百万円減少したことによるものであります。固定資産は690百万円となり、前事業年度末に比べ73百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が10百万円、無形固定資産が26百万円、差入保証金が17百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は2,100百万円となり、前事業年度末に比べ25百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は763百万円となり、前事業年度末に比べ4百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が50百万円、賞与引当金が39百万円増加した一方、未払費用が65百万円、未払法人税等が47百万円減少したことによるものであります。固定負債は208百万円となり、前事業年度末に比べ7百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が10百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は971百万円となり、前事業年度末に比べ2百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は1,128百万円となり、前事業年度末に比べ23百万円減少いたしました。これは主に剰余金の配当による利益剰余金の減少103百万円、当期純利益80百万円の計上によるものであります。

この結果、自己資本比率は53.5%（前事業年度末は54.0%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期第2四半期累計期間並びに通期の業績予想につきましては、平成26年2月14日に公表した第2四半期累計期間並びに通期の個別業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,175,915	1,064,022
売掛金	278,566	295,345
原材料及び貯蔵品	57	41
前払費用	26,286	28,941
繰延税金資産	30,833	20,999
その他	206	1,472
貸倒引当金	△1,769	△563
流動資産合計	1,510,097	1,410,259
固定資産		
有形固定資産		
建物	155,096	162,616
減価償却累計額	△32,713	△37,191
建物(純額)	122,383	125,425
工具、器具及び備品	130,132	145,117
減価償却累計額	△54,773	△62,168
工具、器具及び備品(純額)	75,358	82,949
リース資産	4,870	4,870
減価償却累計額	△2,678	△2,921
リース資産(純額)	2,191	1,948
有形固定資産合計	199,933	210,322
無形固定資産		
のれん	18,878	17,212
ソフトウェア	109,882	138,048
無形固定資産合計	128,760	155,260
投資その他の資産		
長期前払費用	1,376	1,201
差入保証金	222,595	240,315
その他	63,808	83,301
投資その他の資産合計	287,780	324,818
固定資産合計	616,474	690,401
資産合計	2,126,571	2,100,660

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,234	24,413
短期借入金	160,000	210,000
1年内返済予定の長期借入金	40,000	40,000
リース債務	1,074	1,090
未払金	80,779	71,670
未払費用	137,866	72,244
未払法人税等	91,112	43,650
未払消費税等	21,776	20,051
前受金	203,502	205,677
賞与引当金	—	39,313
その他	4,297	35,528
流動負債合計	758,642	763,640
固定負債		
長期借入金	180,000	170,000
リース債務	1,437	1,158
資産除去債務	33,994	35,325
繰延税金負債	524	1,592
固定負債合計	215,956	208,076
負債合計	974,599	971,717
純資産の部		
株主資本		
資本金	338,380	338,380
資本剰余金		
資本準備金	338,380	338,380
資本剰余金合計	338,380	338,380
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	470,782	447,901
利益剰余金合計	470,782	447,901
自己株式	△249	△399
株主資本合計	1,147,292	1,124,262
新株予約権	4,680	4,680
純資産合計	1,151,972	1,128,942
負債純資産合計	2,126,571	2,100,660

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	723,197
売上原価	67,990
売上総利益	655,206
販売費及び一般管理費	521,340
営業利益	133,866
営業外収益	
受取利息	112
その他	0
営業外収益合計	113
営業外費用	
支払利息	891
営業外費用合計	891
経常利益	133,088
税引前四半期純利益	133,088
法人税、住民税及び事業税	41,322
法人税等調整額	10,902
法人税等合計	52,224
四半期純利益	80,863

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上額
	メディア部門	サービス部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	462,725	260,472	723,197		723,197
セグメント間の内部売上高又は振替高	18,667	1,500	20,167	△20,167	—
計	481,392	261,972	743,364	△20,167	723,197
セグメント利益	177,507	109,892	287,400	△153,534	133,866

(注) 1 セグメント利益の調整額△153,534千円には、セグメント間取引消去△20,167千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△133,367千円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。